

第36回

岩手ダービー ダイヤモンドカップ

The Derby Week
2016

優勝賞金500万円 (ネオユニヴァース賞)

6/6(月)
盛岡競馬場
2,000m

盛岡競馬場の2000mは、ゴール前の上り坂を2回クリアする必要があるコース。全体の高低差も4.4mと大きく、出走馬の実力差が結果に表れることも多い。



- 左回りコース
- 1周1600m
- 幅25m
- ダービー出走可能頭数12頭



単勝	○	枠番連複	○	馬番連複	○	ワイド	○	3連単	○
複勝	○	枠番連単	×	馬番連単	○	3連複	○	重勝式	○

注目の競走馬

エンパイアペガサス

父	エンパイアメーカー
母	ステージトリック
母父	Distorted Humor
馬主	佐藤 信廣
調教師	佐藤 祐司
生産者	佐藤牧場



デビューからの2戦は盛岡で2着だったが、その後は水沢で4連勝をマークして、盛岡のやまびこ賞を力強く差し切って5連勝を達成。ダービーでもその勢いには要注目だ。

メジャーリーガー

父	ブラックタイド
母	ストロベリーフィル
母父	サクラチトセオー
馬主	伊藤 裕一
調教師	小林 義明
生産者	木田牧場



6月のデビュー戦から3連勝を飾り、秋は若駒賞と南部駒賞を勝利。年明けのスプリングカップでは5着に敗れ、やまびこ賞でも2着だったが、地方的に無視しにくい存在といえる。

サプライズハッピー

父	ゴールドアリュール
母	ハナマル
母父	アフリート
馬主	西村 専次
調教師	櫻田 康二
生産者	二風谷ファーム



芝マイルのジュニアグランプリで6着に敗れた以外は、常に善戦以上という成績。年明け3戦目の留守杯日高賞で競り勝った底力は、牡馬相手の2000mでも侮れない。



ダービーにジョッキー聞く ダービーの思い出

2015 岩手ダービーダイヤモンドカップ【ロールポヌール】 山本 聡哉 騎手

普通に乗れば勝てるという自信はありましたし、むしろ絶対に勝たなければという思いがありました。気をつけようと思っていたのは、ゲートで暴れたりとか放馬したりとか、そういうアクシデントのほうで

すね。ロールポヌールに大きな注目が集まっていたし、それだけのプレッシャーがありました。そしてあのレースを境に、僕自身が緊張しなくなったというか、動じなくなった面がありますね。ダービーは特別なレースだとは思いますが、そういう思いを自分が背負いすぎるとダメ。またそういう馬に乗せてもらえる機会があったら、うまくコントロールしていきたいと思います。

プレイバック&データ

データ分析

※過去10年間の
データを分析

第35回 岩手ダービーダイヤモンドカップ (2015)

盛岡/2000m/7頭/2015.6.1/晴良

枠番	⑤	馬番	⑤	馬名	ロールポヌール
1 所属	岩手	性齢	牡3	負担重量	56
騎手	山本聡	調教師	千葉幸	タイム	2.08.5 人気 ①

枠番	③	馬番	③	馬名	トホクライデン
2 所属	岩手	性齢	牡3	負担重量	56
騎手	南郷家	調教師	櫻田樹	着差	10 人気 ②

枠番	⑥	馬番	⑥	馬名	オテロ
3 所属	岩手	性齢	牡3	負担重量	56
騎手	齋藤雄	調教師	小西重	着差	1/2 人気 ③

枠番	⑦	馬番	⑦	馬名	ゼンテイバンリ
4 所属	岩手	性齢	牝3	負担重量	54
騎手	坂口裕	調教師	村上昌	着差	2 人気 ⑥

枠番	①	馬番	①	馬名	ストライクガール
5 所属	岩手	性齢	牝3	負担重量	54
騎手	大坪慎	調教師	平沢芳	着差	大差 人気 ⑤



第35回(2015)ロールポヌール

デビューから5戦5勝、そして重賞2勝のロールポヌールが単勝1.0倍の断然人気で、その馬がどんな勝ちかたを見せるのが最大の見どころ。そしてスタートから楽に先手を取って、そのまま押し切るという期待どおりの勝利は、2着馬につけた差が10馬身。実況の古川浩アナウンサーが「今日は追うのか、いや追わない」と言うほどの走りは、まさに役者が違うというレースぶりだった。

単勝人気別成績

単勝人気	成績	勝率	連対率	3着内率
1番人気	7-2-1-0	70.0%	90.0%	100%
2番人気	2-3-1-4	20.0%	50.0%	60.0%
3番人気	0-4-3-3	0%	40.0%	70.0%
4~5番人気	1-0-3-16	5.0%	5.0%	20.0%
6番人気以下	0-1-2-51	0%	1.9%	5.6%

岩手ダービーでは、単勝1番人気馬の信頼度がとても高い。4番人気以下から連対したのは過去10年で2頭だけだが、3着には5頭が入っている。

前走の着順別成績

前走の着順	成績	勝率	連対率	3着内率
重賞・特別1着	6-4-2-3	40.0%	66.7%	80.0%
重賞・特別2着	1-4-3-4	8.3%	41.7%	66.7%
重賞・特別3着以下	0-1-5-37	0%	2.3%	14.0%
一般戦1着	3-0-0-6	33.3%	33.3%	33.3%
一般戦2着以下	0-1-0-24	0%	4.0%	4.0%

前走の着順別に成績をまとめてみると、やはり「重賞・特別で1着」から臨んだ馬が好成績。ただし、一般戦勝利から臨んだ馬が3勝している点も注目に値するといえそうだ。

4走前までに、2着に0.6秒以上の差をつけて勝利していた連対馬一覧

年度	着順	馬名	該当レース	着差
06年	1着	オウシュウクラウン	2走前 3歳B1	1.8秒
	2着	サイレントエクセル	4走前 白菊賞	0.9秒
07年	1着	セントセーリング	前走 阿久利黒賞	0.9秒
08年	1着	ゴールデンクレーク	4走前 3歳A	1.0秒
09年	1着	マヨノエンゼル	4走前 3歳A	1.1秒
10年	1着	ロックハンドスター	前走 阿久利黒賞	1.0秒
	2着	モエレフットライト	前走 七時雨賞	0.7秒
11年	1着	ベストマイヒーロー	前走 七時雨賞	0.6秒
12年	2着	ロッソコルサ	2走前 スプリングC	0.8秒
13年	2着	ハカダドンタク	2走前 やまびこ賞	0.6秒
14年	1着	ライズライン	前走 やまびこ賞	1.2秒
15年	1着	ロールポヌール	前走 3歳B1	1.5秒

「4走前までに2着に0.6秒以上の差をつけて勝ったことがある」という馬が1頭以上連対。最近5年は該当馬が「1頭だけ」連対しているところも興味深い。